

# 電腦援助

浅田 英輔

## Share

SNSが活用されるようになってきて、テキストや画像のやりとりだけでなく、文書ファイルや画像のまとまりであるアルバムの共有などを、複数人でやりたいこともあると思う。そんなことはひと昔前は「電腦に詳しい人」の役目だったのに、今は誰でもできなきゃダメなくらいになってきた。写真を撮る機会も多いし、みんなに見せたい機会も多い。Webにアップするのではなく、クローズドなメンバーにだけ見せたいことも多い。

今はそれが誰でもできるようになっている。電腦援助でも何度か取り上げているGoogleのサービスを使うと結構簡単にできるのだ。

### Googleをおススメする理由3つ

#### ①Googleアカウント（Gmailを登録しているかどうか）を取得している人が多いこと。

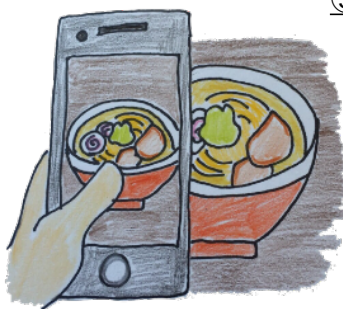
Androidのスマホを使っているのなら、スマホを使うのに必要なため、確実に持っている。（Androidのスマホを使ったことがないけれど、そうだよな？）

iPhoneや格安スマホの場合でも、ほぼ必須と思う。同じサービスを使っている人とはやりとりが非常に楽チンになる。LINEを使うのに慣れると、LINEがない人と連絡とるのが面倒になるのと同じこと。

#### ②様々なサービスのログインが一本化できること。

メール、カレンダーやGoogleフォトなどGoogleのサービスだけでなく、様々なwebサービスのログインに使えることがある。アカウントをいちいち作るのは面倒だが、Googleアカウントでいけると覚えなければならないパスワードが減る。サービス間の連携もスムーズにできる。

#### ③スマホやパソコンを変えても問題ないこと。



スマホから、家のパソコンから、職場から、どこでも同じ環境を使える。連絡帳が消えるという心配もなくなる。

スマホの中で消えたら困るデータは、写真と音楽かなと思う。今回紹介するサービスをうまく使うと、機種変更なんかもだいぶ楽になる。今回は触れないが、私はAppleMusicを使っているので、スマホにほとんど音楽は入っていない。

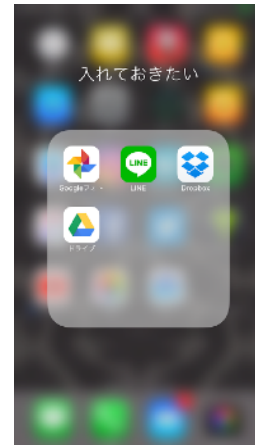
## やってみよう。

### ○Googleアカウントを取得しておく

自分で取得すること。

### ○スマホに入れておきたいアプリ

- ・ LINE
- ・ Dropbox
- ・ Googleフォト



LINE以外は、Googleアカウントがあればログインできる。

Googleフォトは、スマホ内にある写真をクラウドにバックアップする。写真が大量にある場合、通信容量をかなり食うので、設定画面で「モバイルデータ通信を使用して写真（動画）をバックアップする」をオフにしておくことを推奨する。家など、wi-fi環境があるときにまとめてバックアップしてくれるようになる。通信容量は気にしないという方はオンにしておく、写真を撮ったそばからバックアップしてくれる。



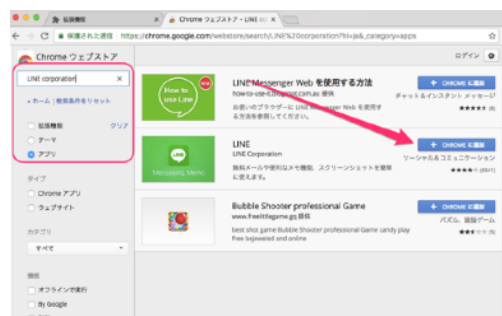
バックアップされたのが確認できたら、スマホの写真アプリに入っているものは消しちゃっても構わない。設定のところで「空き容量を増やす」ってのがあるので、そこからやるとよい。もちろん、不安なのであればパソコンにバックアップを取るのが確実ではある。でも「そのうちやろう」と先延ばしにされていて容量が満タンになってしまっている人も多いのではないだろうか。「スマホのデータで消えたら困るもの」「スマホで容量を占めているもの」で、写真は結構上位にあると思う（未調査）。普段から勝手にバックアップとってくれるだけでもかなり助かる。

## ○Google Chrom+拡張機能のLINE

まずはGoogle Chromをインストールしてログインしておく。

GoogleChromは、あとからいろいろな拡張機能を入れて、自分が使いやすいような設定ができるのだ。今回はLINEの拡張機能だけ入れるが、例えば「Evernoteに簡単にクリップできないかな?」と思ったら、「Chrom 拡張機能 evernote」などと検索してみるとよいだろう。

1. 右上のマークから設定→拡張機能
2. 一番下までスクロールさせて「他の拡張機能を見る」
3. 検索窓に「line corporation」と入れて検索
4. 右側の「Chromに追加」ボタンを押す

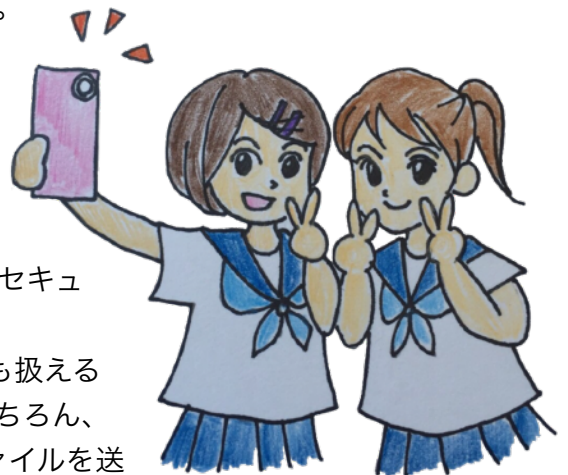


## ○LINE

知らない人も多そうだが、LINEはパソコンからも使える。

一つのアプリケーションとしてインストールすることもできるし、GoogleChromの拡張機能としても使える。つまり、アプリケーションをインストールできない環境、人のパソコンや職場などでも使うことができるのだ。もちろん、職場でそんなこととしてはいけない、パスワードを残さないようにする、最後はログアウトして履歴を消すなどセキュリティは自己責任で。

パソコンから使えるということは、パソコンのファイルも扱えるということだ。ワードファイルをLINEに送れたりする。もちろん、グループに送ることもできるので、パソコンにあるPDFファイルを送るときなどに便利だ。また、LINEに送られたファイルをパソコンでみることもできる。また、キーボードも使えるので長文を打つのも楽々なのである。もっとも、近頃の若者はキーボードを使えないそうだが・・・。



## ○Googleフォト

スマホで写真を撮っていると、すぐに容量がいっぱいになってしまう。そこで、このGoogleフォトのアプリを入れておくと、勝手にクラウドに保存してくれる。画質は少し落ちるが、容量は無制限なのがうれしい。私のGoogleフォトには2000年からの写真が保存されている。やはり子どもがいると、写真が増えるのだが、何千枚かわからん。その上、保存済みの写真をスマホから削除する機能もあるので、スマホの容量も楽に空けられる。写真を全て、Googleのクラウドドライブに保存してくれるということになる。

これもパソコン用のアプリケーションがあるので、インストールしておくといよい。パソコンの写真フォルダにたくさんの写真がある場合は同期しておく、いつでも大量の写真をスマホでみることができる。それでいてスマホの容量は食わないというのはすごい。ただし、気にならない程度ではあるが、見るたびに通信容量を食うし、電波のない状態ではみることができない。

そのGoogleフォトでアルバムを作ると、他の人に共有することができる。自分のスマホの容量を気にすることなく、他の人と写真を共有できるのだ。もちろん、相手の容量を気にする必要もない。

<https://goo.gl/photos/fyAkpwwqK4Hsde3FUA>

例えばこんな感じ。ネットが繋がっている環境で読んでいる方はリンクをクリックすると私のアルバムをみることができる。時間が経って消えてしまうということもないので、思い出したらまたみることができる。

ついでに紹介するが、このGoogleフォトには「アシスタント」という機能がある。日付や撮影場所から推測して勝手にアルバムを作ってくれたり、似たような写真をつなげてアニメーションにしてくれたりする機能だ。例えば、2泊3日の旅行にいった写真をとると、「東京旅行」などタイトル付きでアルバムができるのだ。もちろん、何もしなければ勝手に公開されることはない。使っていて楽しいアプリである。

### ※容量、通信容量など

たまに混乱している人がいるので説明。

#### ・容量

今の場合は、スマホの中に保存できる領域の大きさ。32GBとか64GBとかのやつ。「ディスク容量」と言ったりするが、もともとはハードディスクだったため。実際に円盤が入っていた。現在はSSDというものになっていて、内部に可動部分はなく、「ディスク」ではない。いっぱいになると、写真をとっても保存できない。

#### ・通信容量

スマホでwebページをみたり、LINEをしたり、ソーシャルゲームをしたりするときに起きる通信の容量。通信会社との契約によって、月3GBとか5GBとか決まっている。動画をみたり高画質のゲームをダウンロードしたりすると大きく減る。LINEなんかは気にしなくてもいいレベル。いっぱいになると、LINEに添付された画像がゆっくり表示されるなど、回線スピードがすごい遅くなる。

## ○Dropbox

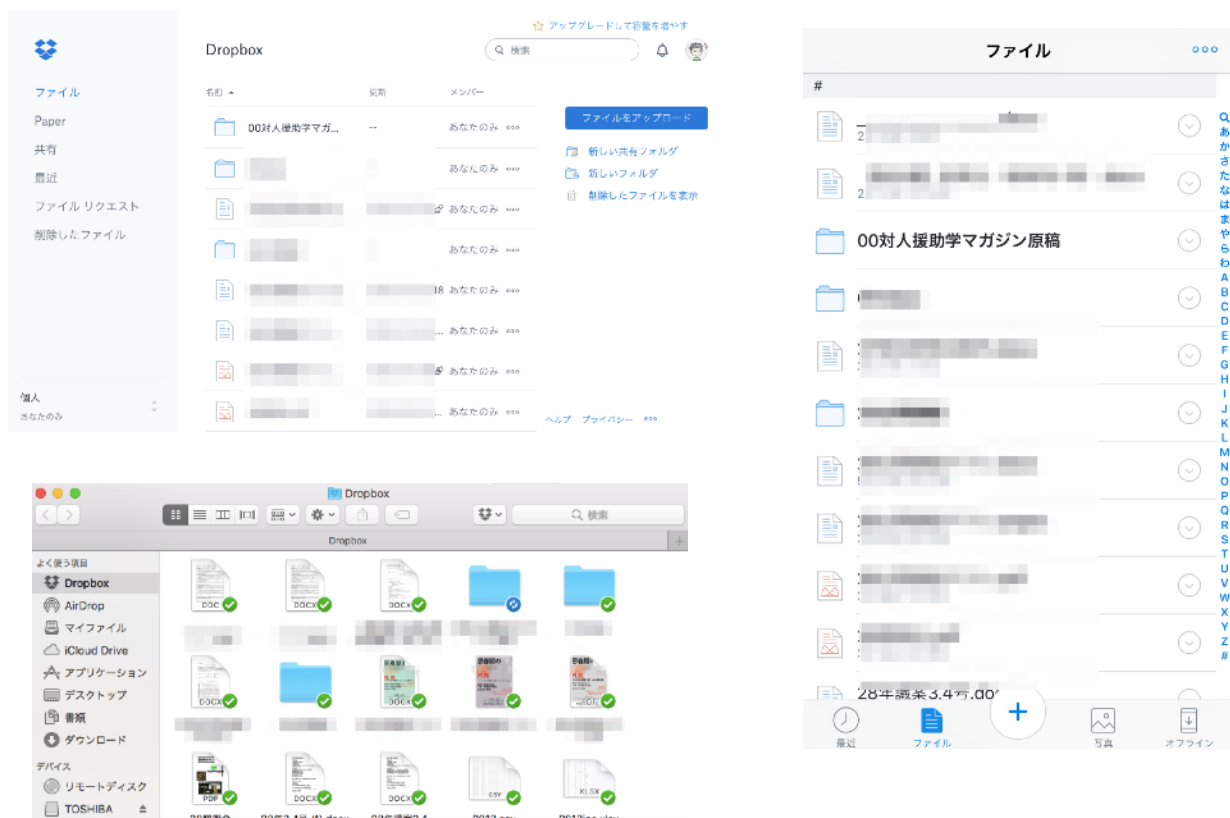
Googleフォトは写真だけだが、こちらはなんのファイルでもOK。ワードでもエクセルでも、PDFでも画像でも動画でもいける。

アプリケーションとしてインストールすると、普通のフォルダと同じように扱える。自分のパソコンなのであれば、インストールして使うほうが便利である。インストールして使うのであれば、任意のフォルダを同期させることで、パソコン上とweb上のファイルの中身が常に同じ状態にでき、その状態からオフラインでファイルを扱うことも可能。

ブラウザ上から使うと、どのパソコンからでもアクセスできる。LINEやGmailと同じように、「インストールしなきゃだめなパソコン」からもアクセスできるのだ。もちろん、同じようにセキュリティは自己責任で。人のパソコンに自分のアカウントやパスワードを入れることはできる限りしないほうがよい。ログインした場合は必ず最後にログアウトすること、できるのであればブラウザのキャッシュクリア（一時保存ファイルの消去）もしたほうがよいだろう。

左上：インストール版 左下：ブラウザ版 右：iPhoneアプリ版

全て同じファイルを見ることができる。この电脑援助の原稿もここに全部おいてあるため、なんならiPhoneを使って電車の中で書き、家についてからパソコンを立ち上げ修正するといったことも可能。USBメモリを使うなどの手間はいらぬ。そう、Dropboxならね。



そしてこのDropboxも、ファイル単独で、フォルダにまとめて、共有ができるのだ。「共有フォルダに入れといたからみてね」というと、相手はスマホでささっとみることもできるわけだ。セキュリティは今のところ問題はない。もちろん「絶対だいじょうぶ」ってことはないので、どんなファイルを置くか、置かないべきかは各自判断が必要。



## 上手に共有しよう。

LINEにしるDropboxにしる、うまく使うといろんなシェアが簡単になる。写真だけならLINEのアルバム機能が最も手軽だろう。しかし、LINEの乗っ取り騒動があったり、いろいろな理由でLINEを使わない人もいる。いわゆるガラケーの人もいる。そういうときはDropboxを使うと共有がスムーズだろう。URLを知っていればいいので、他の人にも広げやすい。

これまで電脳援助に書いてきたどのことにも当てはまるのだが、こういう知識を持っておくと、もともとやりたいことに時間を使える。今の場合は「写真を仲間たちみんなで見ること」が目的であるので、手早くシェアできればよいのだ。みんなで楽しむことが目的なのであって、シェアする手段に時間をかけたいわけではないのだ。

仕事でも同じで、本来やりたいことに時間をかけるべきで、手段の選択に時間をかける必要はない。その手段をとることで目的達成までの時間を減らせるのであれば、どんどん使えばいいのだ。手段選択の際に、好き嫌いが入る余地は多くない。「好きだからこの手段を取る」のではなく、「手間がかからないからこの手段を取る」のである。

ただし、手段を学ぶには一定の時間がかかる。私などはその手段を学ぶことが目的となっている節もある。でも、汎用性の高い手段を身につけると、ほかのことにも応用できるし、全体の作業速度が上がるのだ。「難しそうだから」と敬遠してしまうのは、いかにももったいない。やってみればいいのだ。

みんなで写真なんかを共有したいなら、これを使わない手はない。

やってみると、「動画を仲間うちだけで共有するにはどうしたら」とか「紙のアルバムを作る方法はないだろうか」とか「ワードファイルを同時に更新したらどうなるのだろうか」とか疑問が湧いてきたりもする。いろいろ試してみたいくなる気持ちが起こることは、たぶんよいことだと思う。

Let's SHARE !

